

# 平成 2 8 年度第 8 回定例会

## 八王子市教育委員会議事録（公開）

日	時	平成 2 8 年 8 月 2 4 日（水）	午前 9 時
場	所	八王子市役所	7 0 2 会議室

# 第 8 回定例会議事日程

1 日 時 平成 2 8 年 8 月 2 4 日 ( 水 ) 午前 9 時

2 場 所 八王子市役所 7 0 2 会議室

3 会議に付すべき事件

第 1 第 2 6 号議案 八王子市立学校教職員人事の内申に関する事務処理  
の報告について

第 2 第 2 7 号議案 高齢者叙勲候補者の推薦について

第 3 第 2 8 号議案 八王子市生涯学習審議会委員の解嘱について

4 報告事項

・第 1 回中学生サミットの実施結果について ( 指導課 )

・死亡者叙位の受章について ( 教職員課 )

その他

---

出席者

教 育 長	安 間 英 潮
教育長職務代理者	和 田 孝
委 員	星 山 麻 木
委 員	輿 水 かおり
委 員	村 松 直 和

教育委員会事務局出席者

学 校 教 育 部 長	廣 瀬 勉
学校教育部指導担当部長	山 下 久 也
教 育 総 務 課 長	小 林 順 一
学 校 教 育 政 策 課 長	小 俣 勇 人
学 校 複 合 施 設 整 備 課 長	内 野 茂 樹

施設管理課長	松土和広
保健給食課長	野田明美
教育支援課長	穴井由美子
指導課長	中村東洋治
教職員課長	廣瀬和宏
統括指導主事	佐藤晴美
統括指導主事	斉藤郁央
生涯学習スポーツ部長	小柳悟
生涯学習政策課長	瀬尾和子
スポーツ振興課長	坂口崇文
スポーツ施設管理課長	佐藤晴久
学習支援課長	新井雅人
文化財課長	中正由紀
こども科学館長	叶清
図書館部長	伊比洋司
生涯学習センター図書館長	新堀信晃
南大沢図書館長	村田浩三
川口図書館長	福田秀之
指導課指導主事	星野正人
教職員課主査	石川智也
教育総務課主査	堀川悟
教育総務課主事	廣瀬桃子
教育総務課囑託員	古瀬村温美

【午前9時00分開会】

安間教育長 大変お待たせいたしました。本日の出席は5名でありますので、本日の委員会は有効に成立をいたしました。

これより平成28年度第8回定例会を開会いたします。

本市では地球温暖化対策、省資源対策の一環といたしまして節電等に取り組んでおります。本定例会においても、照明の一部消灯や、職員のクールビズを実施いたしておりますので、御理解いただきますよう、お願いいたします。

それでは、日程に入ります前に、本日の議事録署名委員の指名をいたします。本日の議事録署名委員は、村松直和委員を指名いたします。よろしくをお願いいたします。

なお、議事日程中、第27号議案については、いまだ意思形成過程のため「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項及び第8項の規定により、非公開といたしたいと思っておりますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 御異議ないものと認めます。

安間教育長 それでは、それ以外の日程について進行をいたします。

日程第1、第26号議案 八王子市立学校教職員人事の内申に関する事務処理の報告についてを議題に供します。本案について教職員課から説明願います。

廣瀬教職員課長 おはようございます。それでは、第26号議案、八王子市立学校教職員人事の内申に関する事務処理の報告につきまして御説明申し上げます。

詳細につきましては、担当の石川主査より御説明申し上げます。

石川教職員課主査 それでは、第26号議案、八王子市立学校教職員人事の内申に関する事務処理の報告について御説明いたします。

第一中学校、邊見彰副校長が平成29年3月31日まで休職することに伴い、その後任の配置について去る8月3日に東京都教育委員会より内報がございました。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第38条に基づく人事の内申の期限が8月9日であったため、教育委員会定例会に上程するいとまがございましたので、八王子市教育委員会の権限委任に関する規則第4条第1項の規定に基づき、教

育長において裏面のとおりの事務処理をいたしましたので、同条第2項の規定により報告し、承認をいただくものでございます。

それでは、議案裏面をご覧ください。平成28年8月16日付で当時青梅市立第二中学校、梅田尚之主幹教諭を第一中学校副校長として任命をするよう8月9日付で事務処理をいたしました。なお、8月16日に辞令伝達式を行い、教育長より辞令交付をしていただきましたので、あわせて御報告をさせていただきます。

説明は以上です。

安間教育長 　　ただいま教職員課からの説明は終わりました。

本案について、御質疑はございませんか。

和田委員 　　梅田先生のお住まいはどちらですか。青梅とか西多摩のほうで活躍されているようなのですが、副校長先生は大変お忙しく、大規模な学校でもありますし、その中で、お体に気をつけていただくような意味でも、学校体制をしっかりとっていただいて、副校長先生を支えていただきたいなというふうに思っています。

一中は主幹の先生も4人全員そろっていましたよね。

廣瀬教職員課長 　　はい。

和田委員 　　ぜひ副校長先生を支える体制をしっかりとっていただければと思います。

住所の件は結構なのですけれども、遠くから通われる副校長先生が最近増えていきますので、その点で、教育委員会のほうからも様子を見て、ぜひ励ましていただければというふうに思っています。

以上です。

安間教育長 　　ほかに御質疑はございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 　　また、御意見等がございましたら、お伺いいたします。よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 　　それでは、御意見等もないようでございますので、お諮りをいたします。

ただいま議題となっております第26号議案については、承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 御異議ないものと認めます。よって、第26号議案については、そのように承認することにいたしました。

安間教育長 続いて日程第3、第28号議案 八王子市生涯学習審議会委員の解嘱についてを議題に供します。

本案について生涯学習政策課から説明を願います。

瀬尾生涯学習政策課長 それでは、第28号議案、八王子市生涯学習審議会委員の解嘱につきましてご説明いたします。

八王子市生涯学習審議会委員、柴田彩千子氏より、平成28年9月30日をもって生涯学習審議会委員の職を一身上の都合により退任をしたいという申し出を受けました。柴田氏におかれましては、平成25年7月の任期当初から生涯学習審議会委員に就任され、審議会では主に教育委員会からの諮問、八王子市の生涯学習の振興方策についての答申のほか、生涯学習関連事業評価において御尽力をいただいたところでございます。まことに残念ではあります。退任の届け出を受理いたしましたので、生涯学習審議会委員の職を解嘱するものであります。

説明は以上です。

安間教育長 ただいま生涯学習政策課からの説明は終わりました。

本案について、御質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 それでは、御意見等も交えて、何か委員のほうから本案についてございませんでしょうか。本件はよろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 それでは、御意見等もないようでございますので、お諮りをさせていただきます。

ただいま議題となっております第28号議案については、提案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 御異議ないものと認めます。よって、第28号議案については、そのように決定することにいたしました。

安間教育長 続いて、報告事項となります。

指導課から報告をお願いします。

佐藤統括指導主事 8月3日、水曜日、八王子市教育センターで開催いたしました第1回中学生サミットについて、星野指導主事より御報告申し上げます。

星野指導課指導主事 それでは、配付しました第1回中学生サミットの実施結果についての資料をご覧ください。

中学生サミットは、生徒が自分たちの生活を取り巻く問題や課題について主体的に解決していこうとする能力を養うこと、各学校の自治活動の活性化を図り、よりよい学校、よりよいまち八王子にしていこうとする姿勢を醸成することを目的としております。

第1回は、議題を「生徒自らがいじめについて考え、いじめ防止に向けた行動指針を検討する」として実施をいたしました。サミットに先駆けて指導主事等が中学を何校か訪問し、直接代表生徒の考えを聞く機会をもちました。生徒は、自分たちの学校のいじめ防止にかかわる取り組みについて詳しく説明してくれたこと、そして、いじめへの考えや思いを自らの言葉で伝えてくれました。第1回中学生サミットでは、市立中学校より代表生徒各校2名ずつ、計74名がいじめ防止に向けた自分の学校の取り組みやいじめについての自ら考えをもとに協議を行いました。当日は教職員、保護者、地域の方、生徒等142名という多くの方が参加されました。

サミットの流れは、まず全体会において生徒にサミットの目的や今回の議題について説明をし、いじめ防止に向けた行動指針を中学生で検討し、サミットの終わりにその行動指針を提案すること。その行動指針は今後、八王子市立小中学校のいじめ防止に向けた取り組みのもとになることを確認してから、四つのブロックに分かれてブロックごとに協議、検討を行いました。

ブロック会は四つの研修室に分かれて、いじめ防止に向けた各学校の取り組みを紹介してもらい、その後、「いじめをなくすためにはどのようなことをしていけばよいのだろうか」というテーマで話し合いをしました。各ブロックには指導主事がファシリテーターとしてブロック会の進行をいたしました。各ブロックの話し合いで出された主な内容は、配付しました資料の7、検討した主な内容に記載してある

とおりです。どのブロックでも、学校で取り組んでいることがいじめをなくしていくこととどのような関連があるのか、実際に取り組んでいて効果はあるのかといった鋭い指摘があり、もう一度学校での取り組みを考え直す良い機会になったと考えております。

資料の裏面をご覧ください。全体会ではブロック会での話し合いの報告をしてもらい、参加した中学生全員でいじめ防止に向けた行動指針を協議、検討いたしました。いじめをなくすために効果が期待できる学校の取り組みを具体例として話題に上げながら話し合いが進んでいきました。学校の状況を踏まえながら、その取り組みが本当によいものなのかと問う生徒や、その問いに対して改善策を加えて話をする生徒の姿が見られました。いじめは難しい問題であるが、自分たちで解決しなければならないのではないかという意見に対して、先生や親が注意しても止められないことがあるのに生徒同士で解決できると考えるのは無理がある、甘く考えているのではないかとの発言が出ました。全員がいじめに対して自分たちはどのようにしていくかという姿勢や考え方が問われる指摘がされ、協議が深まっていきました。いじめ問題を解決する困難さを踏まえながら、それでも自分たちの問題は自分たちで解決をしないと何も変わらないこと。大人に協力してもらうことも必要であるが、生徒同士でいけないと言うことも大切であることが生徒から出されました。

最後に、この話し合いを代表の生徒が資料の8に記載してある行動指針としてまとめました。中学生から提案されたいじめ防止に向けた行動指針です。「いじめから目をそむけない」。相手を理解すること。自分たちがいじめについて考え、行動すること。いじめ解決に向けていろいろな人とかかわることです。

今後の予定についてですが、全市立小中学校共通の取り組みとして、この行動指針が書かれたポスターを全市立小中学校で掲示。行動指針やサミットで話し合われたことを全校集会等で全児童生徒への周知。行動指針をもとに、各学校の学級活動や児童・生徒会等で学校の具体的な取り組みを決め、実行してまいります。

また仮称になりますが、八王子市いじめ防止対策推進条例の制定や八王子市いじめ防止基本方針の見直しに反映してまいります。

最後に、今回の中学生サミットの感想を紹介して終わります。参加した中学生に、サミットを終えての感想やいじめについての考えを聞きました。いじめはとても難

しいテーマであるが、ほかの中学校の取り組みや中学生の考えを知ることができたことは、自分の学校の取り組みやいじめについての考えを見直すためにとても重要なことであった。いじめを解決していくためには、大人の力をかりながらも自分たちで解決に向けて行動することが大切だと再認識した。2学期学校が始まったら全生徒に話をし、みんなでいじめについて考えていけるように行動していきたい、と真剣に話をしてくれました。

また、他市に住んでいる方より、中学生が自分たちの問題を本気で話し合う機会が必要であるとずっと考えており、八王子市の取り組みは大変すばらしいという声も届いております。

貴重な話し合いを話し合いで終えずに、このサミットの内容を学校の管理職や教員に周知し、各学校の取り組みの充実を図ってまいります。

報告は以上でございます。

安間教育長     ただいま、第1回中学生サミットの実施結果についての報告は終わりました。

この8月3日に行われた中学生サミットに関して、何か御質疑はございませんか。

和田委員     八王子は何をやるにしても学校数が多いものですから、本当にこれだけの学校の生徒たち、代表とはいえ多くの生徒たちが集まる中で、どうやってまとめていくのかなというふうに思っていましたけれども、進行も指導主事さんが進めていただいて、非常に良かったのではないかと、お疲れ様でした。ありがとうございます。

まず、質問させてください。一つ目は、参観者の内訳がもう少し詳しく分かったら教えてもらえるとありがたいなと思っているのですが、教職員の中で校長先生の参加状況はどうだったのだろうかというのと、参加以外の生徒も来ていたのかなというあたりを、まず内訳として教えてください。

それから二つ目にお伺いしたいのは、中学生はこの企画に関わっていたのかどうか、完全に教育委員会サイドでの企画だったのか、その辺だけちょっと御説明いただけるとありがたいと思います。

星野指導課指導主事     先ほどの御質問で管理職ということなのですが、学校のほうから中学校の校長先生は当日28名、副校長先生が9名参加をしていただいて

おります。ちなみに小学校の校長先生は3名来ていただいております。一般の生徒は7名来ています。

和田委員 中学生の企画参加については。

星野指導課指導主事 中学生の参加については、教育委員会が大きな取り組みはやっているのですが、校長会等でもお示ししましたとおり、内容については各学校、各クラスで事前にでいじめについての話し合いをしていただいて、それをもとに代表生徒がこちらで意見を話してくださったという経緯があります。

安間教育長 ほかに御質疑はございますか。

星山委員 すみません、私は当日伺えなかったのですが、今の御報告で分からなかったことがあって。

次第の資料をいただいて大体理解できたのですが、全体の流れが少し分かってありがたいのですが、最初に全体会があって、その後、ブロックごとにお話をし、また全員集まって共有したという、そういう流れでよろしかったですか。

星野指導課指導主事 星山委員のおっしゃるとおり、先ほどもお話しさせていただいたのですが、初めに全体会でこの会の趣旨説明ですとか最後のほうに行動指針というふうに示してほしいということ投げかけた後、それぞれ4ブロックに分かれて、各学校でのそれぞれのブロックでのいじめの防止に向けた行動を検討等していただいて、それをもち寄って、また全体会でそれぞれのブロック報告をして、行動指針を深めていったという経緯になります。

安間教育長 ほかに御質疑はございますか。

輿水委員 1点質問です。ここに集まってきた代表生徒というのは、それぞれの学校の生徒会役員という方が多いのでしょうか、それとも何らかの形で学校から選抜されたという方がいらっしゃるのか、それを教えてください。

星野指導課指導主事 申し訳ありません、当日どういう生徒がというような把握はしておりませんが、多くは生徒会の生徒会長と生徒役員の代表が来ております。ただし学校によっては、中学校1年生が学校の代表として自分が出たいということで、そういう学校もございました。

村松委員 質問です。このサミットを終えられた後、裏面にも書いてありますけれども、学校からの反応、また生徒からの反響ですとか、何か新しく取り組みを始めた

というような、そういう何か連絡みたいな、そういうのはあったのでしょうか。

もう一点は、このサミットを実施した結果、指導主事さん、一生懸命頑張っていただいていたと思うのですが、反省点ですとか、また自分たちで、これは良かったというような点が何点かありましたら、教えてください。

星野指導課指導主事　一つは反応なのですけれども、具体的なこういう取り組みをしたというのは、まだございません。ただ、先ほどの中学生の聞き取りをしたという件でもお話しさせていただいたのですが、今回すごく有意義だったという生徒の声や、2学期以降ぜひ全校の生徒会で話をして、取り組みをしていきたいのだというような真剣な声も聞かれました。管理職の先生からも、本当にすごく生徒が本音で話したいいい機会になったので、ぜひこれを学校の取り組みとして生かしていきたいというような声も、終わった後に校長先生の何名かから声も上がっております。

2点目の指導主事のほうからということで、先ほどのお話のように、今回の会議について本当に生徒がいじめについて本音で真剣に話したなという、その機会についてというのは大変意義があったものと考えております。反省点については、今回第1回目ということもあって、指導主事がファシリテーターとして司会進行を務めていったのですけれども、2回目以降については、やはり生徒の自治的な力を高めるというようなところもありますので、ファシリテーターも中学生にやってもらって、活躍してもらえたらなというふうに考えております。

佐藤統括指導主事　学校からの反響を今、星野が話をしましたとおり、具体的に何か新しく試みたということはないのですけれども、管理職からこういう意見が寄せられております。

一つは、やはり司会進行を生徒会担当の教員がしたほうがいいのか、さらに言えば、生徒自身がすることに価値があるのではないかという意見が寄せられております。

もう一つは、これは学校が子どもを育てようという気持ちが強いのだなと思った意見なのですが、今回は半日、1日で行うというサミットだったのですが、これを複数の日にできないかという意見がありました。まずブロック会で、もっと子どもたち同士で深めさせたい。それを、また次の日とか別の日に全体会で、もっと意見を言い合わせたいなという学校の意見がありました。

それから、こちらの反省点というところですけども、ブロック会に分かれたときに、一応段取りというか進行は決めてあったのですが、やはり指導主事が中学生の発達段階とか、それに応じた投げかけ、そういうところが4名でそれぞれ違っていたというところがありますので、今後どのように会を進行していくか、子どもたちの意見がさらに出てくるようにするためにはどうしたらいいかということは、検討していかなければならないかなと思っております。

以上でございます。

村松委員      ありがとうございます。

学校からの反応や生徒、先生方の反応というのをなぜ聞いたかと言いますと、このいじめの問題というのは大変重要な問題だとももちろん思っているのですが、これが、サミットが終わった、実施した、次は違う題目でやるということでは、やはりだめだと思うのです。しっかり意見を取り入れて、また学校側から言われている複数の日でやりたいだとか、生徒の自主性でファシリテーターもやるとか、そういったことを考えながら企画していただいて新たに臨まないで、ただ単に1回やった、終わった、良かったと、中学生なんかは、まだまだ時間が足りないというふうに言っていた生徒もいますので、ぜひ反響をもう一度学校側、また生徒からしっかりとくみ上げていただいて、やっていただければなと思います。

以上です。

安間教育長      ありがとうございました。ほかに御質疑はございませんか。

御報告させていただきますが、昨日市議会で常任委員会がございまして、本件の報告をさせていただきました。議員のほうから、自分も参加してとても興味深かった、今お話があったように、これから各学校でどのように取り組まれるかということが重要だというような御意見、各校で定期的に話し合いをすとか、もしくは代表の生徒だけではなくて全校生徒に広げるような取り組みをしてもらいたいという要望もございました。

また、ほかの議員からも、自分も参加したけれどもすばらしい内容だったと。各校での取組表が配られて、生徒自身の勉強の刺激にもなった真剣な議論だったのではないか。

また、先ほど話にあった指導主事の進行もブロックごとに差はあったけれども、

指導主事自身の勉強にもなったのではないかと、そのような御意見がありまして、おむね本当に肯定的な御意見をいただいたところでございます。

この際、教育委員の皆様方のほうから中学生サミットの今後についてという点と、もう一つ、中学生サミットにかかわらず、本市のいじめ防止の考え方、また対策の具体案について今お考えがありましたら、ここで伺いをして、事務局の参考にさせていただきたいと思いますが、御意見を頂戴できますでしょうか。どちらでも結構ですし、両方ともでも結構です。中学生サミットの今後のあり方、もう一つはいじめ防止の考え方、もしくは具体的な取り組みのあり方、御意見等がありましたら、伺いさせていただきたいと思います。

まとめりました委員から、いかがでしょうか。

村松委員　私は、大変いい取り組みをしていただいたと感謝しております。

少し早目に教育センターの駐車場で待機しておりまして、皆さんがだんだん集まってくるのを見ていたのです。そうしましたら校長先生、副校長先生、担当の先生と談笑しながら、どうしようかと笑顔で何か話し合っている人もいれば、校長先生が本当に怖い目つきをして、これはこうするのだぞと力強くいろいろ取り組まれている先生もいれば、悲喜こもごもにセンターの中に入っていった方たちを拝見していました。また、4ブロックに分かれて生徒の中から司会を決めてファシリテーター、司会進行をしたというのも、とてもいい取り組みだと思いました。もちろん緊張しているのですけれども、中には指導主事さん顔負けの司会進行役の生徒がいたりして、八王子の中学生も立派だなというふうに思いました。

やはりいじめの問題に関しては、もっと早く取り組むべきであって、中学生で複数開催して、その意見を集約したものを、またいじめのいろいろな条例ですとか、そういうものに組み入れなければいけないというふうに私は思っていたのです。保護者の方たち、またPTAの方たちからたくさん意見をお聞きしたのですけれども、本当にいい取り組みで、教育委員会の皆さんも本当に良かったですね、ありがとうございましたという好意的な意見が多かったです。このいじめのサミットに関しましては、もっと早く検討して企画していただいて、やっていただければなというふうに思ったのが1点です。

第2回がいつあるかは分かりませんが、いじめの問題は大事なことなので、ぜひ

1ブロックから4ブロック、ブロックごとに集まってやっていただくとか、何かそういうふうに細かく丁寧に、この問題を取り上げていただければと思います。いじめ問題については保護者もいろいろと参画できるようなサミットをやっていただければなと思います。

とりあえず以上です。

安間教育長     ありがとうございます。

ほかの委員からございませんでしょうか。

星山委員     まず、この取り組みはとてもすばらしいと思います。できたら何らかの形でサミットの、いつもいじめのことだけではないのかもしれないですけども、ぜひ中学生サミットでいじめをするということに関して継続的、また発展するような形でお願いできたらというのが、まずあります。

ということは一つあるのですが、少し違う意見なのですけども、私は意外に違和感があります。私は大学でいじめ問題について教えているのですが、いじめというのは、私は子どもたちだけでは解決できないとっていて、やはり大人が、大人というのは具体的に先生、親、地域の方の三者の協力なしには難しい問題だなと思ってまして、できたら、その方たちを今後どうやって巻き込んでいって、子どもたちがこれだけ真剣に話し合っているのだから、私たちはどうやって子どもたちを支えていくかという方向性に持っていけないと、なかなかこの先は難しいだろうなという気がしています。

これは単なる私の提案ですが、先生サミットや親サミットでもいじめ問題を取り上げてやっていただきたいなと思いますし、地域の方にもいじめのサミットをやっていただきたいなと。多分この三者が同じ方向を向いたとき、本当に子どもたちのいじめというのは減らすことができるのではないかなと思いました。地域をはじめとする大人の協力ということを中学生が自主的にやって解決できればいいという問題とはちょっと違うところに、本当はいじめというのはあるのではないかなというのが私の意見です。

それから、サミットに出てくる生徒さんたちは、きっと出てきたいと自分で手を挙げて出てこられる生徒さんなのだと思いますが、本当に助けてほしいと思っている生徒さんは多分違う、学校の中で声を上げられない子どもたちだろうと想像がで

きるので、今後とてもいい取り組みなので、これを学校に持ち帰り、どのようにして今度は生徒からの発信で、親や先生や地域が、あるいは一人一人の子どもたちの中からいじめというものを考えていく取り組みにつなげるかというところが、最も肝心ではないかなと思います。第一歩の取り組みとしてとても画期的ですし、もちろんこの取り組みはすばらしいなというふうに思います。

3点目ですが、私は大学で同じ授業をしますが、そのときに私が投げかけるのは、加害者の心です。なぜ人はいじめをするのかとか、どういう時にいじめたくなるのかという問いかけてなかなか子どもの側からは出てこなくて、大学生になっても、そこは自分たちからなかなか出てこないで、実はいじめている子どもたちも寂しかったりストレスを抱えていたりというところに気が付いていかないと、なかなか難しいというところは、ちょっと大人からのファシリテーションや投げかけがないと、人間理解の深いところなので厳しいかなといつも思っています。

結局のところ、家庭環境や人の能力や生物学的な要因も本当に一人一人違うので、違うからいじめていいと思ったとか、あいつは何となく普通じゃないから、型にはまっていないから感情的に許せないというところから始まるのだという考察を私はたくさんレポートで読むので、人間って、そこにいじめの原点があるのではないかなと思いますので、このあたりは中学生任せにするのではなくて、大人側というか八王子市教育委員会が、実はそういうことって私たちの心の中に誰でも潜んでいて、誰でもそういう弱い者とか違うものに対して差別する気持ちってあるのだよというところから始まらないと、きれいごとでは終わらない、自分の中にもあるそういう気持ちと向き合う、すごく深いと思うのです。

子どもたちのサミットの式次第に書いてあったまとめを見ると、すごく深いなと思いました。また長くなってしまいましたが、例えば一中で書いてあった学び合いという授業形態が、多分いじめを減らしていくことにつながるだろうとか、クラスの中で違いや良さを認めることが大事だろうとか、生徒さんはちゃんと気が付いていて、友達の長所を見つけようとか、先生方だけではなくてスクールカウンセラーや支援員さんにも相談できるようになるといいとか、すごく中学生は糸口を見つけているなど。

それをまとめますと、私たち大人がどうやって今後応援していったらいいかなと

いうところの取っ掛りにできるのではないかなと、非常に力強く思いましたので、難しい課題ではありますけれども、丁寧に応援していきたいなと思いました。

以上です。

安間教育長     ありがとうございます。

輿水委員     私もこの日は、どうしても東京にいられない事情があって参加できなかったのですが、大変関心を持って報告を待っていました。

まず、サミットの目的として、文言的にもすごく大事なことが書いてあるというふうに思います。主体的に解決していく力、これはいじめだけではなくて、子どもたちが今から絶対につけていかなければいけない力だろうと思うのです。この主体的に解決していこうとする能力を培うためには、一番自分たちの身近な課題について自分たちが課題意識を高く持っていることについて主体的にかかわっていくというふうな、そういう活動を掘り起こしていかなければいけないだろうと思います。さらに中学生ですから自治活動の活性化、自分たちが自分たちの生活をつくるのだというふうな意識を持たせる。その上で実際の行動、その意識が、よりよい学校づくりであったり、よりよいまちづくりであったり、よりよい自分の生活づくりであったりという、そこにつながっていくのだということ、これは教育活動を通じて子どもたちに実感させたいというふうに思います。そのときに身近な問題、そして切実な問題、そして下手をすると命にもかかわるようなこういう問題、いじめということテーマにして、ここに迫るとするのは、私はいじめをなくすというのは、目標は目標なのですが、もうちょっと広いところで子どもたちにこういう力をつけるという、そういう機会をいろいろな形で持っていくというのは大事だろうなというのが1点です。

2点目ですけれども、今日も遠くないところで16歳の子どもが無残な形で見つかったというふうなことがあって、本当に解決していかなければいけない大切な問題だろうと、いじめについて思うわけです。とするとやはり、今のこのやり方で突破口を開く、子どもに目を向けさせるというのはとても大事な一歩が踏み出せたというふうに、そこを高く評価したいと思います。その上で、校長先生方からもあったと言いますが、代表の子どもたちのこの思いを全校の子どもたち、もっと言えば一番困っている子であったり、声が出せない子であったりするところまでおろすた

めには、校長先生または学校の先生からの御要望があったというふうな御報告がありましたけれども、1回ブロック会をやって、もう一回学校に持ち帰って、そこでもう一度学校全体で学級におろして、そしてほかの学校からこんな意見があったよということをもう一度吸い上げて全体会というふうな、そういうふうなもち方というのは、なるほどいいなというのが一つあったことです。

もう一つは星山先生からも出ましたけれども、子どもたちの考えた目安箱とか先生に相談するとかというのが子どもらしく、そうだなと思ったのですが、情報を得た教師がどんな形で子どもたちにおろしていくかというのが非常に問題ですよ。先生に言ったから余計ひどくなったというふうな、そういう実態を親からも聞いたり、子ども自身からも聞いたりいたします。

そう考えると、こういう情報が入ったとき、一体どうすればいいのだろうかというふうな、そういう事例研修的なもの、または先生方の困り感も含めて、教師の姿勢や指導力を高めるような、そういうものも教育委員会としては考えていかなければいけないのではないかと。もちろんそれが普及すると、先ほどお話があったように学校だけではなくて保護者、地域にもかかわります。親が、子どもがそれだけつらい思いをしているというのをキャッチできないということも、ある意味非常に大きな課題だろうと思いますので、地域や保護者の方に広げていく、それぞれのサミットを開くというふうな御提案もありましたけれども、私もその方向が大切だろうなと思います。

今回、参観者が子どもたちの倍ぐらいあって、学校関係者だけではなくて、地域や保護者の方々も関心をもって御参加くださっているということを考えると、今回のこの実施は、地域や保護者サミットへの種まきにもきつとなっていくだろうなというふうに思いました。

私はいただいた具体的な各学校の取り組みの中で、他とはかなり違った報告があるのはひよどり山中かなというふうに思いながら見ていました。ほかはアンケートをとるとかスローガンを作るとか朝会のときにみんなで考えるということが出てきているのですが、これまで取り組んできたいじめ防止に関連したひよどり山中の取り組みは、ある意味、本質かなというふうに思ったのです。みんなで育てて、みんなで取り入れて、みんなで食べるってすごく大事だろうというふうに思います。学

校の環境、条件もあると思いますが、いじめということだけではなくて、それが起こったらどうするかというだけではなくて、もっと耕す部分ということ、これが本当は一番大事なのではないかなということ、子どもたちの取り組んできた内容から私も感じたところです。と考えると、大きく人権って何なのだろうかという、本当に人の権利ってどういうことなのだろうかというのが大事だなと。東京都の教育目標、もちろん八王子の教育目標も人権ということはどう考えるのかということからなっているわけです。全ての教育活動の基本に、それはあるべきだというふうに謳ってはいますが、本当にそのことがどれぐらい具体的な姿として学校に、また地域に、保護者にいっているのかなと考えたときに、こういう楽しいことをみんなでやるというか、それが一つは大きいかなと。

もう一つが、違いがあるのが当たり前という、違っているのが当たり前というところを本気で子どもたちに納得させるというか、納得できるような取り組みというのを考えていきたいなと思います。

ますますグローバル化が進んで、この子たちは外に出ていく子どもたち、また外から入ってくる時代に生きる子どもたちですから、違って当たり前というところがないと、そういう方向で今度のサミットが進んでいっていただければ嬉しいなと思います。

以上です。

安間教育長     ありがとうございます。

和田委員     当日参加させていただいて、今回は八王子の代表者になるわけですがけれども、各学校にこういう発言力のある、力のある生徒たちがたくさんいるのだなということ、ある意味でほっとしたなという気がします。

ほっとした中には、建前の部分できちんと話をする部分と本音をきちんと言えるという、これは全体会の中でもブロック会の中でも、こうしなければいけないのはわかっているが、本当にそれができるのかというところを生徒自身が代表であっても非常に感じ取っていて、この問題がもやもやしている限りは、いじめの問題というのはなかなか解決しないだろうというものを案じているような、そういう発言が非常に多かったなというふうに思うのです。ある意味では、この代表に頼るだけではなくて今後の取り組みというのは重要になってくると思うのですが、ただ、いじ

めの問題の解決の突破口としては、やはりいじめが自分の学校にはあるのだということが言える環境が、要するに生徒同士が、意見交換があるということと言えるような、そういう環境づくりをする、言葉にすることができる、誰であってもそのことを話し合ってもいいのだよという、そういう環境づくりをする上での代表としての役割を、この生徒たちは持ち帰ってもらえるのではないかなというふうに思っています。

一つは、私自身も中学、高校と自治活動にかなり関わってきた人間なのですが、実は学校の中というのは生徒会の役員や委員と一般の生徒との間の温度差が激しいのです。つまり、その当時はいじめではなかったのですけれども、暴力の話だとか、校内が荒れていたりとか、授業規律が悪いとかという話なども取り上げていたのですが、そういうことを一生懸命自治会や中学の生徒会がやったとしても、一般の生徒に響かせるには温度差が物凄くあってなかなか難しいのです。

もう一方では、先生方の温度差もあるのです。そんなことをやっていたって、どうせ解決しないよということを平気で発言するような先生たちもいて、本当にしらっとしたような先生もいるし、一生懸命生徒会の活動を指導してくれている先生は「やろうよ、頑張ろうよ」、そういう言い方をしてくれる先生もいて、そういう代表に頼るだけではなくて、学校に戻ったときに、これをどう具体化していくのかというところが、これから大きな課題になるのだろうかというふうに思っています。

いじめの問題はいろいろなところで議論されていますけれども、認識は人によって本当に違っていて、子どもが社会性を身につけるための発達過程である、その中の友達関係のトラブルではないか、それを乗り越えていかなくてどうするのだという、そういう立場の認識をする人と、これは犯罪である、暴力行為である、そういう捉え方もするわけです。韓国の法律の名称はいじめではなくて学校暴力防止法という法律になっているのですが、完全に暴力として規定しています。認識は幅があるにしても、結果としては今の問題としては深刻な問題、結果を生じているということについては変わらないのです。

ですから、結果がこういう深刻な状況になることを考えて取り組んでいかなければいけなくて、ただ話し合いをただけでは問題というのは解決しないというのが大前提にあるのではないかなというふうに思っています。今回のサミットで言えば、

こういう話し合いができる、訴えをしても、どこへでも訴えができるのだよということと、それからみんながいじめを発見したら、子どもでも先生でも保護者でも言ってくれるような、そういう雰囲気づくりを学校ですることが第一歩にはなっていくのではないかなというふうに思っています。

校長時代にもありましたけれども、1年目に赴任したときの1学期から校内でいじめが物すごく吹き荒れて、調べただけでも中学1年生で20件もあって、緊急保護者会を開いた経緯もあるのですが、そういう保護者会があっても先生方の認識に非常に差があって、出てこない教員、全員出てくださいという話をしているのですが、なんだかんだ言って出てこない教員が半分以上いる。どうして出てこない、6時以降にやっているのだから、今は勤務時間の話はしませんけれども、自分の学年ではないとか、それに一切かかわっていないというような、そういう先生方の認識もある。それから道徳や学級活動の中でも、こういう話し合いをしてくださいね、話し合った結果を皆さんで、職員会議で共有しましょうという提案もしてきましたのですが、それも年に1回いじめの話もしないような、そういう学級もあって、学校の先生方の認識も本当に違っているし、取り組みも違っているので、そういったものを学校の中では展開していく必要があるのではないかなというふうに思っています。

サミットについては、私は星山先生が言われたとおりだと思っていて、子どものサミットの姿を見せているのだけれども、保護者や、あるいは周辺の大人たちのいじめに対する考え方を子どもたちに見せてないのではないかという、そういう思いをしています。私の立場も、いじめというのは当事者間では解決できないというのが、いろいろな事例を見たときに私自身も確信をしている部分があって、やればやるほど泥沼になったりとか、あるいは人間関係を壊していく中で、返って結果として良くないほうに進んでいく状況もあって。やはり大人の介在であるとか、いろいろ周囲からの支援がないと、この問題というのは解決できないのだろうなというふうに思っているの、ぜひこの会を受けて、先生方のサミット、先ほど生徒会担当の先生が司会をやればいいという話でしたが、逆に生徒会担当の先生がサミットをやって、子どもが司会をやったらどうかぐらいに思っているのです。先生方は本当に解決すると思っているのという、そういう問題提起を先生方に対してしていくようなところも必要なのではないかということがある。親のサミットも当然だと思っ

ています、サミットというか意見交換の場というか、それを見せていくという、それは子どもたちに対してのメッセージではないかなというふうに思っています。

さらに、これも村松委員のほうから話がありましたけれども、ブロック会を開いて、さらにこれを各学校でもう一度話し合っ、そして全体でのサミットへもう一度戻してあげるということをしていかないと、このサミットって指針を示しただけであって方策につながっているのか、本当に取り組んでいるのかというのは見えてこないように思いますので、少し継続した形で取り組んでいかれたらどうかなと思います。大きな会を開くのは大変なので、ブロック会レベルでの中でのノウハウ、そういう話し合いのノウハウとか、そういういろいろな考え方を共有できるような場を多くつくっていくことでサミットを広げて、最後のまとめもしてみたらどうかなというのが今回のサミットに関する私の考えです。

以上です。

安間教育長     ありがとうございました。

補足であるとか、そういったものはございますか。

輿水委員     今すぐはいろいろな意味で無理があろうかと思いますが、高尾山学園が斜線になって入ってきているというところ、そういう意味では、この会にというのはなかなか無理があったのだらうというふうに思いますが、全員が参加して、もっと言えば嫌な思いを経験している子どもたちからの発信というのできるぐらいまで、ここでたくましさをぜひ付けたいと思いますし、そういうことをみんなで考えていけるような、理想論かもしれませんが、何らかの形で、たとえその場に出られなくても、何かしらのメッセージが発せられるような、そこまでのたくましさを感じ付けていってくれたらいいなというふうに、希望です。

安間教育長     ありがとうございます。ほかに。

村松委員     今後の中学生サミットのことなのですが、いじめ、いじめとか困ったことや苦しいことばかり中学生の子たちに話をしてもらうのもちょっとかわいそうかなということもあるので、ぜひ自分たちが頑張っていることですか、運動会、展覧会、音楽会、クラブ活動、そういったもので私たちはこういうことを頑張っていますとか、提案ですとか、そういったことを発表できる。そうすると生徒会の会長さんだけではなく、クラブの部長さんですとか一般の子どもたちも参加できるよ

うになると思いますので、そういったプラスの方向でみんなが頑張っていること、生き生きしていることを発表する場も検討していただければなと思っています。

中学生サミット、いじめのこともそうなのですが、実は私の高校の友人で三重県の名張市の中の会長さん、名張市PTAの会長さんがいまして、そこが先ほど来お話が出ていますように、保護者の意見、そういう全く無関心な保護者をどうにかしたいということで、家庭教育委員会というのをつくったのです。一般のPTAの保護者だけではなく一般の方たち、学校から選抜して、どんな保護者でも意見ができるように家庭教育委員会というのをつくって、いろいろな方たちをランダムに選んで、出て意見を出していただくという取り組みをしているのですが、最初はいろいろとクレームもあったみたいなのですが、だんだんそれが根づいていって、いろいろな方たちが参画してくれるようになって、いろいろな意見が活発にできるようになった。それが三重県のほうでも、それをやろうというふうに話が始まっているそうです。

これは中学生サミットですので、例えば生徒、または保護者を誰か入れるとか、各学校で1名生徒、1名保護者という形で、またいじめの話をしてもらうとか、いろいろなことで参加してもらう。そういうやり方もあるのではないかなと思いますので、それがいじめにかかわらず、いろいろな子どもたちが生き生き活動できるような、そういうサミットも2回目やっていただければ、多分いろいろな意見が、本音が子どもたちから出るのではないかなと。または先生と生徒と、いろいろな形で出ていただくというやり方もあると思いますので、いろいろ企画をしていただければなと思っています。

以上です。

安間教育長     ありがとうございます。

ほかの委員から、補足等はございますか。

星山委員     村松委員のお話を聞いて、ただの思いつきですが、指導課がやっていらっしゃって、このままサミットが膨れていくと、きっと大変かなと思って。せっかく八王子って学校運営協議会もありますし、いろいろな市民活動をたくさんしていらっしゃるので、ほかのところは主催のサミットもいいのではないかなと。

例えば学校コーディネーターさんなんかは学運協の運営にかかわり、もっと研修

をやってほしいといろいろなところから聞くので、そういうところだとPTAや地域の方が同じテーマでサミットができたりするかな。あるいは今出た家庭教育だと生涯学習とかで、社会教育としてこういうことをみんなで子どもたちのために考えていこうとやっていくと、今度はいろいろな課で共催ができたりして、すごく八王子らしい取り組みになり、しかも学運協をやるとこういう広がりがあるよ、子どもたちのいじめをみんなで考えているよとPRできたりすると、うちもやってみたいかなという学校が参加してくださるかなとか、わかりませんが、ただの思いつきなので本当にできるかわかりませんが、素晴らしい取り組みだと思うので、これをほかに広げられるように、一つの課の負担ではなくて広がりをもたせると、とても素晴らしい人権や家庭教育にもつながるかなと感じました。

以上です。

安間教育長 ありがとうございます。そのほか、よろしゅうございますか。

この際、中学生サミットの今後といじめ防止の考え方について委員の御意見をいただきました。シャープにまとめたものということではございませんけれども、今出た御意見の趣旨が、我々5人の教育委員会の考え方であることを確認させていただいてよろしゅうございますか。

それに伴いまして次回の中学生サミットやそれに付随する事業を実施する場合には、これを基本的な考え方として持っていただきたい。また、いじめ防止に対する、例えば諸会議等がありましたら、教育委員会としての考え方はこういうものなのだと、その趣旨を必ず伝えていただいて会議を進行するなど、ぜひ教育委員会としての考え方として扱っていただきたいというふうに思います。貴重な御意見ありがとうございました。

それでは、次の報告事項に入りたいと思います。続きまして、教職員課から御報告をお願いします。

廣瀬教職員課長 それでは死亡者叙位の受賞につきまして、報告をさせていただきます。

受賞者、元八王子市立第五中学校柴山一郎、享年88歳。受賞内容ですが正六位、叙勲につきましては平成27年12月1日に瑞宝双光章受章を受賞しております。高齢者叙勲ということで受賞されております。発令日28年7月20日、死亡日に

なっております。経歴でございますが、校長先生として中山中学校長5年、第五中学校長3年ということで八王子に御尽力いただきました。

報告は以上です。

安間教育長　　ただいま報告は終わりました。

本件について、御質疑はございませんか。よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長　　それでは、ほかに何か報告する事項はありますか。

廣瀬学校教育部長　　ございません。

安間教育長　　これで公開での案件は終わりますが、委員の方から何かございますでしょうか。

和田委員　　私のほうからではないのですが、ここのところ震災や災害の問題とかいろいろ起きているので、まだ夏休みは終了していませんけれども、状況が分かったら教えていただきたいことが3点あります。

1点目は、昨日の台風の状況の中で学校の施設関係や、あるいは避難状況であるとか、昨日などは隣の日野市なんかでは高校が避難所になって避難をしているような状況も出てきていますので、台風による影響について一つお聞きしたい。

2点目は、これは八王子市内でも水の事故が起きていて、川の中で死亡事故などが起きている報道が出されていますが、子どもたちの水の事故はどうなのか。あわせて、部活動中の熱中症による死亡者も他県等では出ているわけなのですけれども、こういった熱中症等の夏の部活動、そういったようなものに対して事故の有無と、また指導について、もし何か状況が分かるようでしたら教えていただければありがたいと思います。もしなければ、また9月の定例会でまとめという形でも結構なのですが、今の時点でありましたらお願いいたします。

安間教育長　　それでは、今御質問ありました台風の対応の問題、熱中症の事故の問題も含めて、夏季休業中の現時点で把握している事故の状況について御報告をお願いしますか。

小俣学校教育政策課長　　昨日の台風の避難所の開設状況、それから避難者の状況、学校についてですけれども、学校に10名避難者がありました。学校数では5校の避

難所において避難者は8世帯11名が最大でした。15時30分現在で全ての避難者が帰宅しました。18時30分をもって全避難所を閉鎖しました。

避難状況については、以上でございます。

和田委員 5校はどこですか。

小俣学校教育政策課長 松木小が男性2名女性1名の3名で1世帯です。それからみなみ野君田小が男女1名ずつ2名で1世帯。それから由井中が女性1名で1世帯、それから川口小が男女2名ずつの4名で4世帯、それから最後に浅川小が男性1名で1世帯ということです。

佐藤統括指導主事 熱中症についてでございますが、熱中症の疑いで1件、夏休みの間に報告が入っております。ただ、すぐに管理職が対応いたしまして、大事とならなかったというふうに報告をいただいております。

あと、2学期の始業式が本日から行われております。本日、小学校が1校、中学校が2校始業式を迎えておりますが、それ以外の事故報告については現段階で入っておりません。

以上でございます。

松土施設管理課長 施設の状況なのですけれども、月曜日中に学校のほうにおもむいて業者等の手配も含めまして、雨漏りへの対応を中心にさせていただいた学校が6校あり、第二中学校、鑓水中学校、別所小学校、美山小学校、散田小学校、みなみ野君田小学校の6校に対しては翌日対応させていただいています。それ以外の学校に関しましては今後、問い合わせ等で対応してまいります。

安間教育長 ほかに関連することで報告すべきことはございますか、よろしゅうございますか。

和田委員 水の事故はないんですか。

安間教育長 ないという報告です。よろしゅうございますか。

ほかに何か委員の方、ございますでしょうか。

輿水委員 今は事故関係の御報告でしたけれども、学運協の話も出ましたが、各校で夏休みの間、地域、学運協が中心になってのさまざまな行事が行われていて、私も何校か伺って非常に盛り上がっていて、子どもたちが大変いい体験をさせていただいているなというふうなことを感じました。私が伺った学校、地域だけではなくて

いろいろあるかと思います。これを、またいつかどこかで、まとめたものを教えていただけたらと思います。今すぐというわけではなく、そういうことも、いいことを少し発信していただけたらと思います。

以上です。

安間教育長 要望として承るということにさせていただきたいと思います。

ほかに、ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 ほかにはないようであります。

安間教育長 それでは、ここで暫時休憩にいたします。なお、休憩後は非公開となりますので、傍聴の方は御退席をお願いいたします。

〔午前10時00分休憩〕